
swSafe Manual

リリース 6.2 ~ 8.2

systemworks corp

2023 年 07 月 12 日

目次

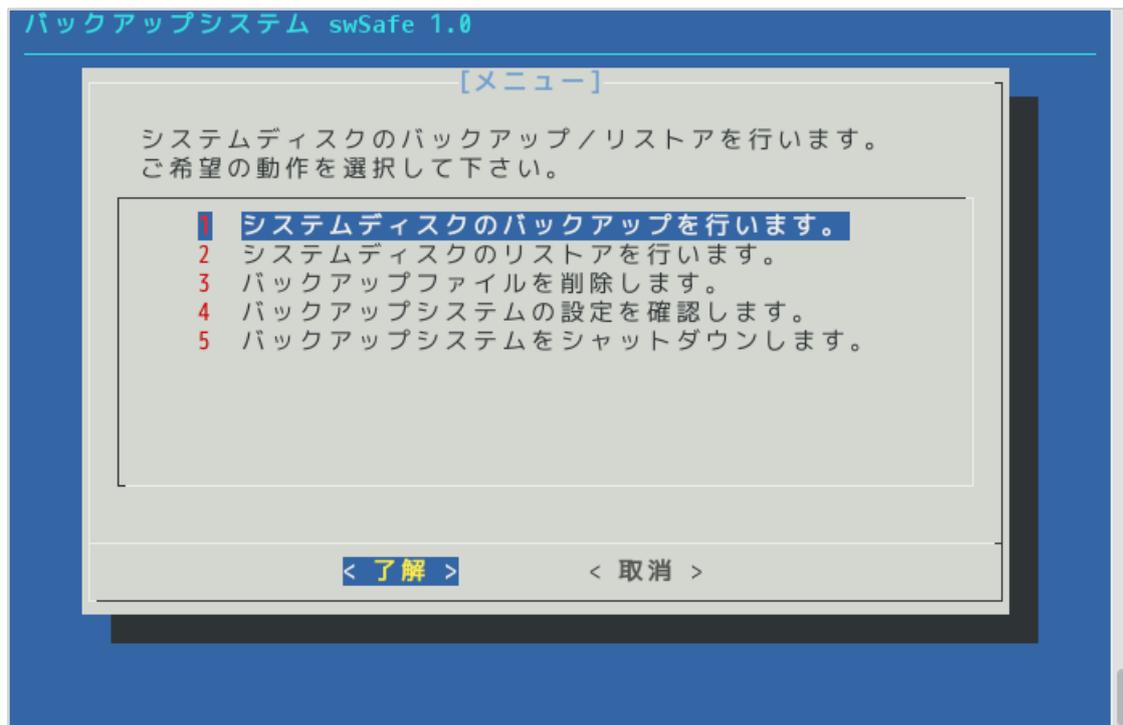
第 1 章	swSafe のご紹介	1
1.1	はじめに	1
第 2 章	swSafe の使い方	3
2.1	サーバで swSafe を起動する	3
2.2	システムディスクのバックアップを行う	4
2.3	システムディスクのリストアを行う	6
2.4	バックアップファイルを削除する	7
2.5	バックアップシステムの設定を確認する	8
2.6	バックアップシステムをシャットダウンする	9
第 3 章	こんな時は	11
3.1	バックアップ/リストア対象ディスクが見つからない場合	11
3.2	バックアップファイル保存先の空き容量が残り少なくなった場合	11
3.3	swSafe をアップデートする場合	12

第 1 章

swSafe のご紹介

1.1 はじめに

swSafe は、システムディスクのバックアップを取るための専用ソフトウェアが含まれた USB デバイスです。この USB デバイスにてサーバを起動することで、バックアップとリストアが出来ます。この USB デバイスは、以下の特徴を持っています。



- USB3.0 接続のデバイスの為、サーバへの取り付けや取り外しを簡単に出来ます。
- キーボードによる操作でバックアップとリストアを実行することが出来ます。
- 従来の BIOS ブートを利用しているサーバや、UEFI ブートを利用しているサーバにも対応しています。
- swSafe を起動すると、自動的にシステムに接続されているディスクを検出し、それらディスクをバックアップ対象ディスクやリストア対象ディスクとして設定します。
- swSafe でバックアップを行う際には、システムディスク全体を圧縮して 1 つのファイル (lzo 形式) で保存します。リストアを行う際にはバックアップイメージを解凍しながらディスクに書き込みます。

- バックアップイメージの保存先の容量に依りますが、バックアップイメージを複数取ることが出来ます。また、バックアップイメージ一覧から 1 つを選んで、リストアすることが出来ます。

第 2 章

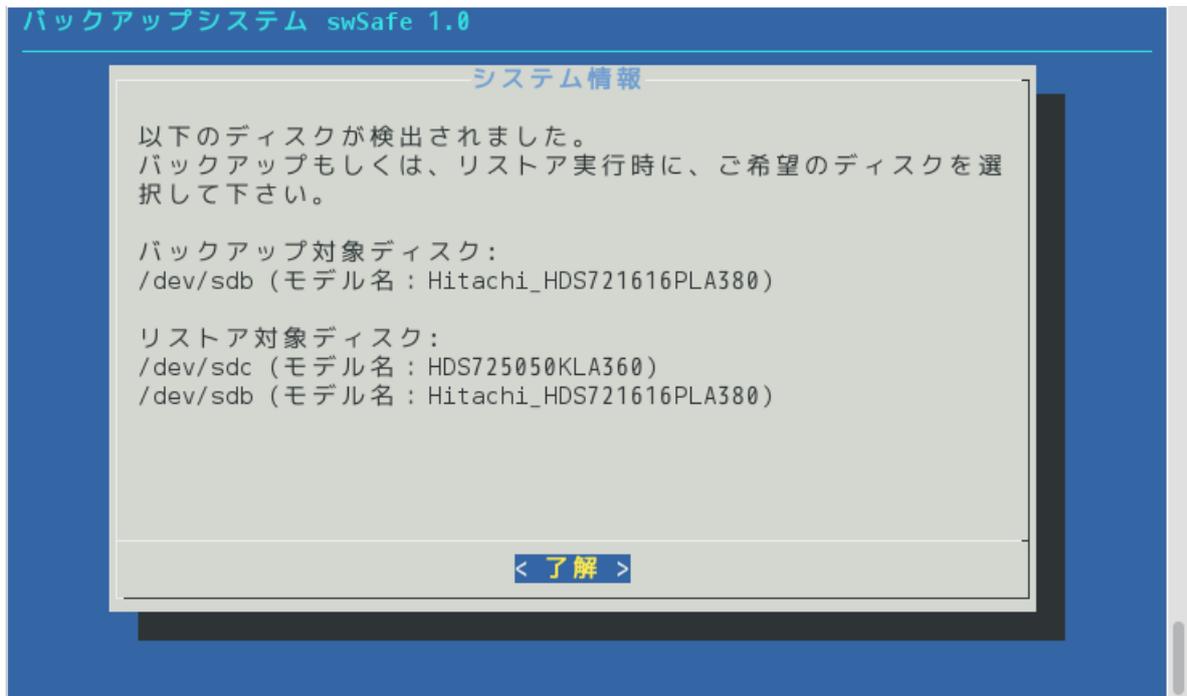
swSafe の使い方

2.1 サーバで swSafe を起動する

- 1) swSafe をサーバの USB ポート (USB3.0 ポートへの接続を推奨します。) へ接続します。
- 2) サーバのパワースイッチを押して、サーバを起動させ、swSafe の起動完了を待ちます。

注釈: サーバ BIOS の起動ディスクの順番によっては、swSafe が立ち上がり、システムディスクから OS が起動します。その場合には、サーバ BIOS の起動ディスクの順番を変更を試みて下さい。

- 3) swSafe の起動完了すると、検出されたディスクの一覧が表示されます。ディスクの一覧を確認後、「了解」をキーボードのエンターキーで押し、メインメニューを表示させて下さい。

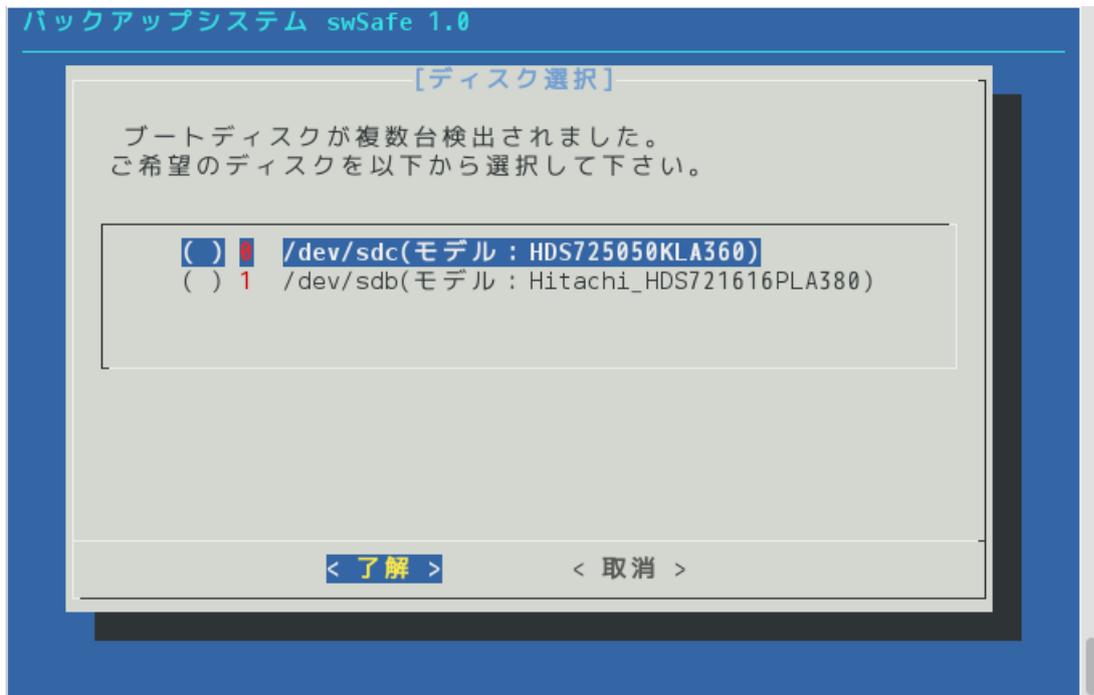


注釈: swSafe ではブートフラグが設定されているディスクの一覧を「バックアップ対象ディスク」へ表示します。また、「リストア対象ディスク」一覧には、ブートフラグが設定されていないディスクと共にブートフラグが設定されて

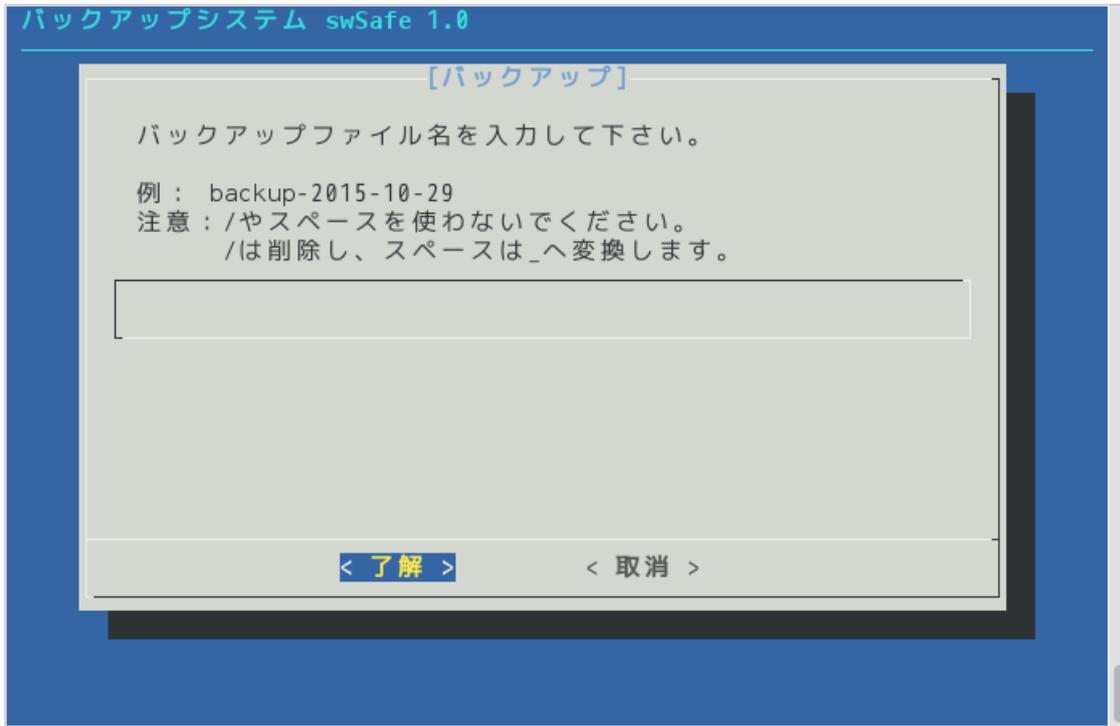
いるディスクも表示します。

2.2 システムディスクのバックアップを行う

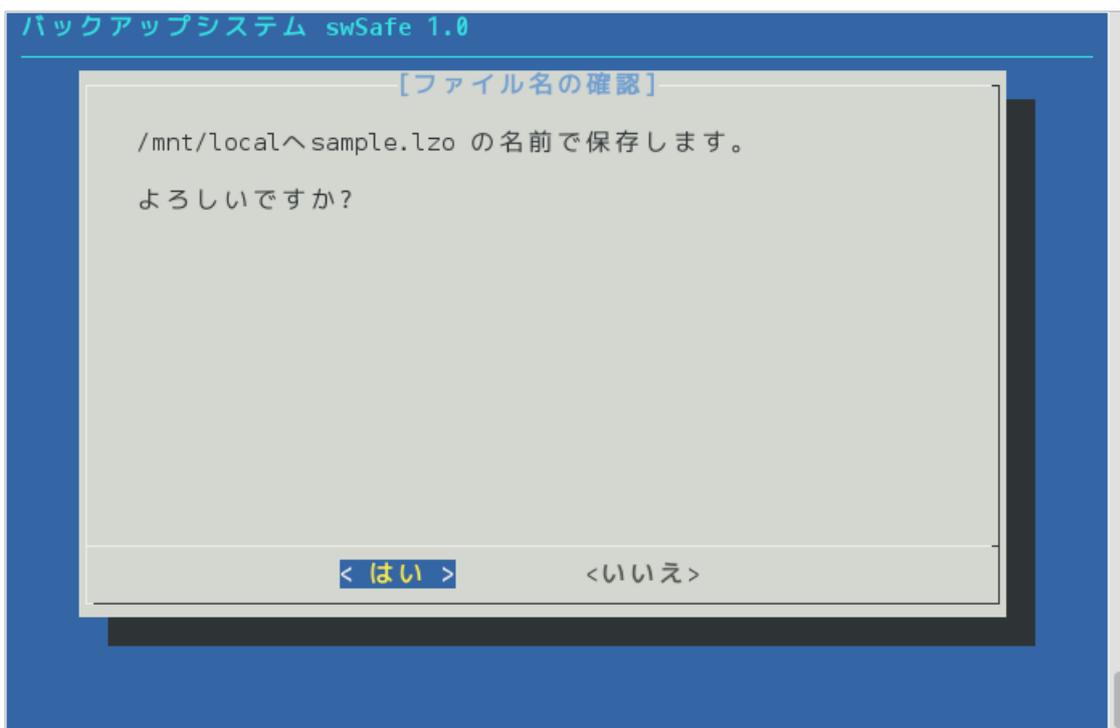
- 1) メインメニューの「1. システムディスクのバックアップを行います。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。
- 2) サーバに複数のブートディスクが接続されている時には、バックアップを行いたい「ディスク選択」画面が表示されます。バックアップを行いたいディスクを一覧から、キーボードのスペースキーで希望するディスクを選択後、エンターキーを押して決定します。ディスク名左側の () 内に * マークが付きます。ブートディスクが 1 つのみの場合にはディスク一覧が表示されません。次の 3) 以降の手順を進めて下さい。



- 3) バックアップファイル名を入力後、「了解」を選択して、エンターキーを押して下さい。
 - / やスペースを利用しないで下さい。/ は削除し、スペースは_へ変換します。
 - 拡張子.lzo が付与されていない場合は、自動的にファイル名の後に追加されます。



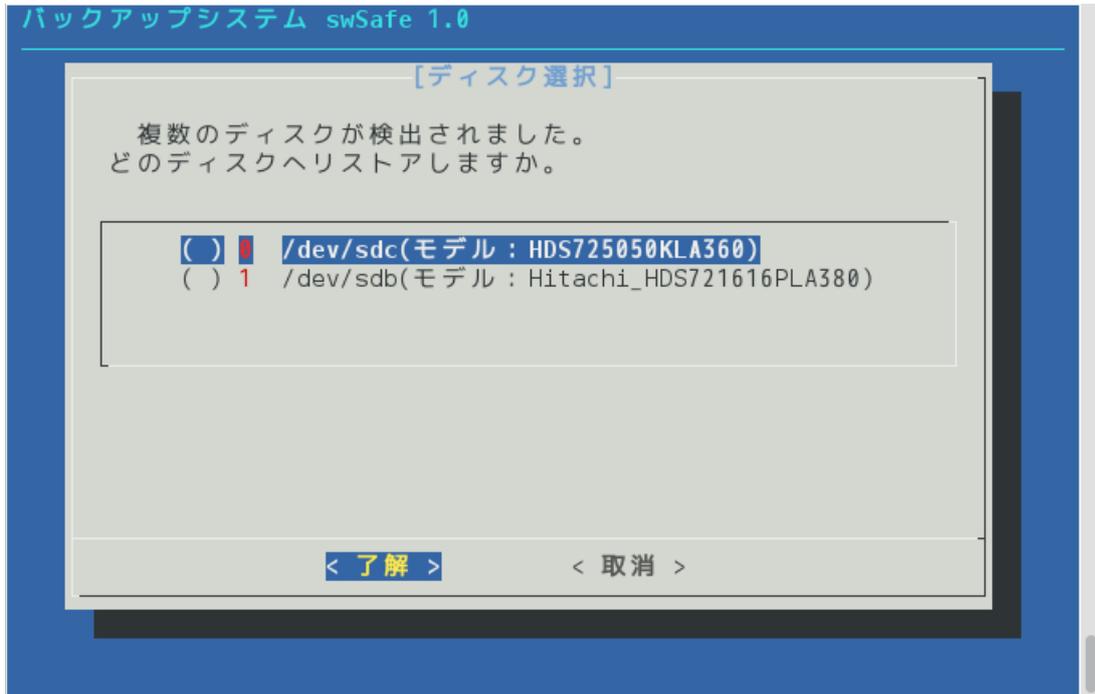
- 4) 確認ダイアログが表示されるので、もし、入力したファイル名でよろしければ、矢印キーで「はい」を選択して、エンターキーを押して下さい。中止する場合には、矢印キーで「いいえ」を選択して、エンターキーを押して下さい。



- 5) バックアップが開始されます。完了するまでお待ちください。なお、バックアップ時間はシステムディスクの容量とUSBポートの速度に依存します。

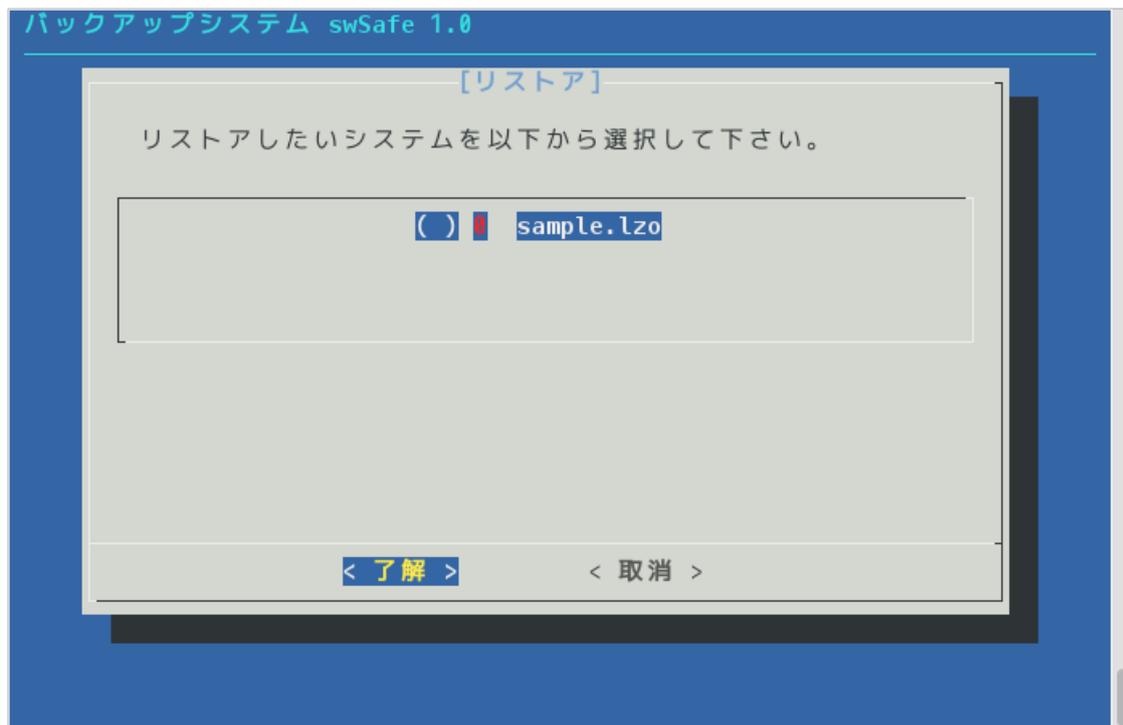
2.3 システムディスクのリストアを行う

- 1) メインメニューの「2. システムディスクのリストアを行います。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。
- 2) サーバに複数のリストア先となるディスクが接続されている時には、「ディスク選択」画面が表示されます。ディスクを一覧から、キーボードのスペースキーでご希望のディスクを選択後、エンターキーを押して決定します。選択したディスク名の左側 () 内には * マークが付きます。候補となるディスクが 1 つのみの場合には、ディスク一覧が表示されません。次の 3) 以降の手順を進めて下さい。



- 3) バックアップイメージ一覧^{*1}が表示されるので、対象のイメージ名をキーボードの矢印キーで選択して、スペースキーを押して下さい。選択したイメージ名の左側 () 内に * マークが付きます。* マークが付いたイメージ名のファイルがリストアされます。

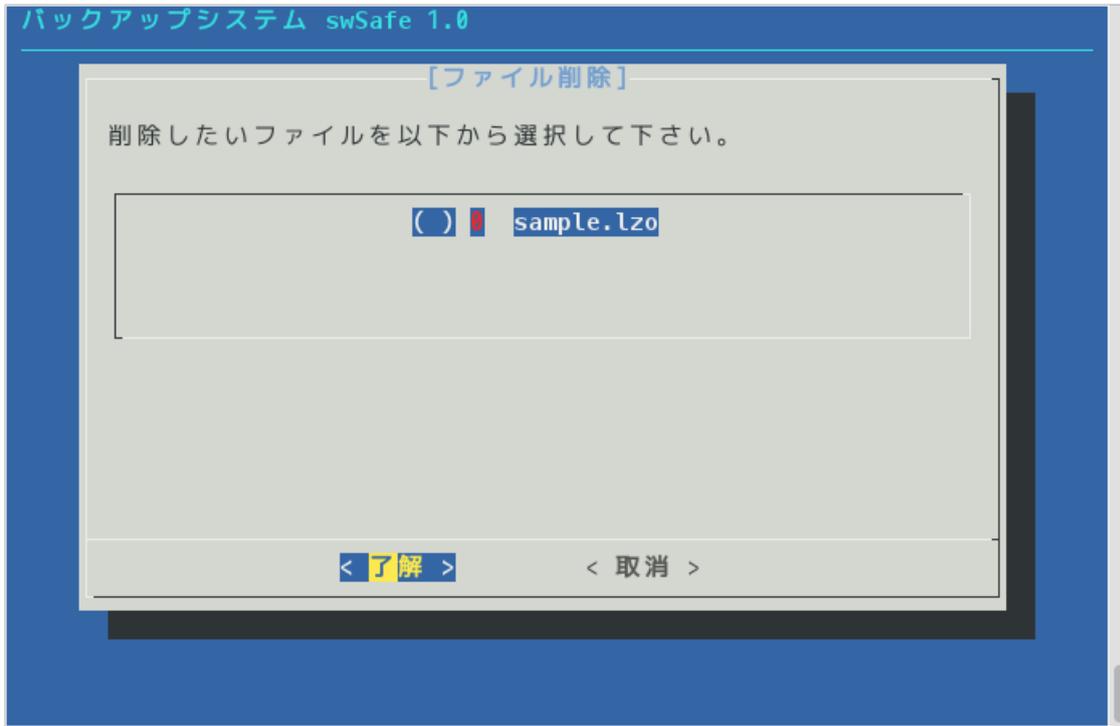
^{*1} バックアップファイルが一つも無ければ、「バックアップデータが一つもありません。」と表示されます。



- 4) リストアを実行するには、キーボードの矢印キーで「了解」を選択して、エンターキーを押します。確認ダイアログが表示されるので、選択したバックアップイメージでよろしければ、「はい」を選択して、エンターキーを押して下さい。もし、中止する場合には、矢印キーで「いいえ」を選択して、エンターキーを押して下さい。

2.4 バックアップファイルを削除する

- 1) メインメニューの「3. バックアップファイルを削除します。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。
- 2) バックアップイメージ一覧^{*1}が表示されるので、対象のイメージ名をキーボードの矢印キーで選択して、スペースキーを押して下さい。選択したイメージ名の左側 () 内に * マークが付きます。* マークが付いたイメージ名のファイルが削除の候補です。

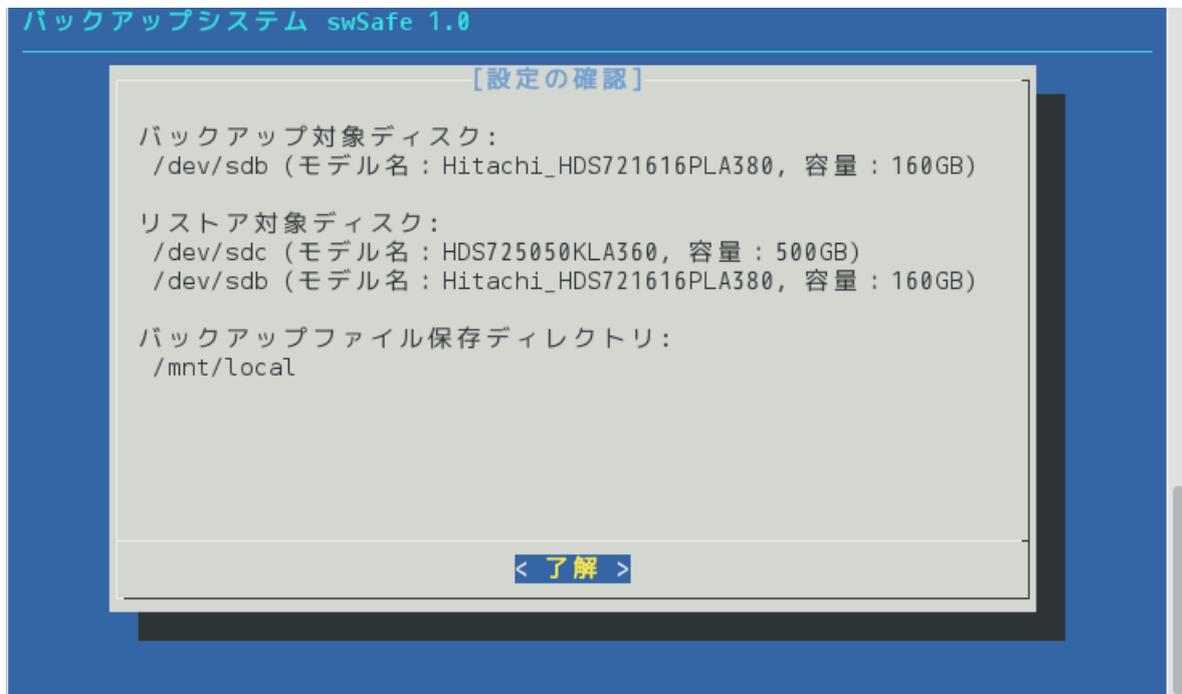


- 3) バックアップイメージを削除するには、キーボードの矢印キーで「了解」を選択して、エンターキーを押します。確認ダイアログが表示されるので、選択したバックアップイメージでよろしければ、「はい」を選択して、エンターキーを押して下さい。中止する場合には、矢印キーで「いいえ」を選択して、エンターキーを押して下さい。

2.5 バックアップシステムの設定を確認する

- 1) メインメニューの「4. バックアップシステムの設定を確認します。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。
- 2) 現在の「バックアップ対象ディスク」、「リストア対象ディスク」と、「バックアップファイル保存ディレクトリ」が表示^{*2} されます。

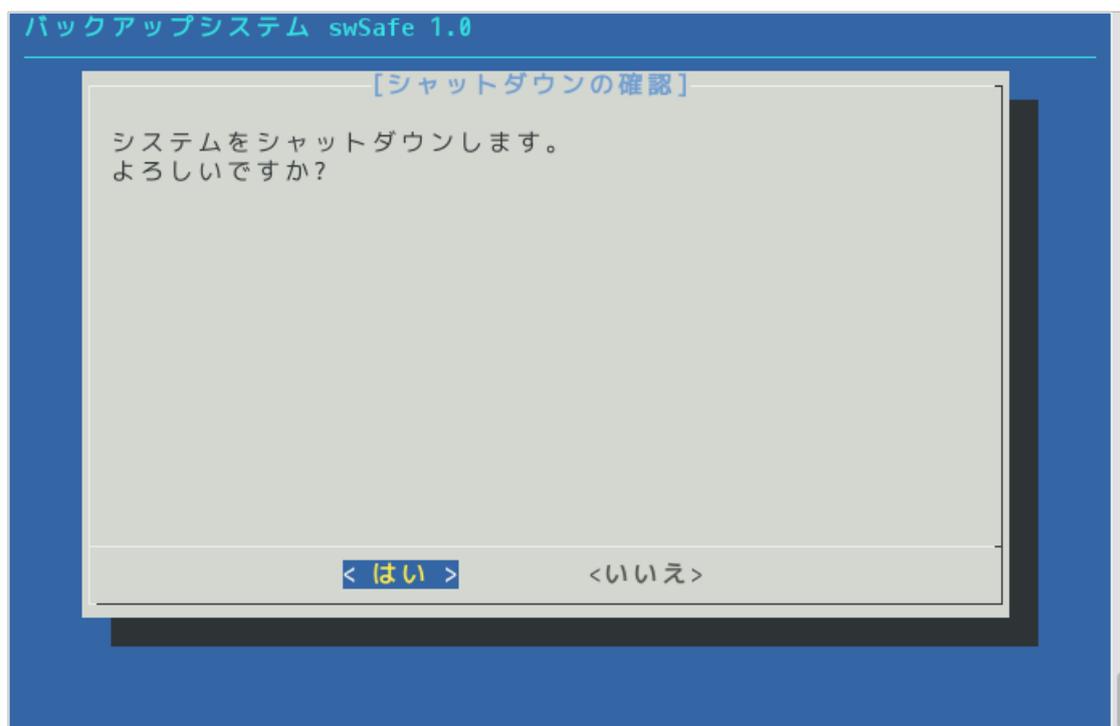
^{*2} 今のところ、設定変更は出来ません。



- 3) キーボードの矢印キーで「了解」もしくは、「取消」を選択し、キーボードのエンターキーを押すことで、メインメニューに戻ることが出来ます。

2.6 バックアップシステムをシャットダウンする

- 1) メインメニューの「5. バックアップシステムをシャットダウンします。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。



- 2) キーボードの矢印キーで「はい」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押すとシステムがシャットダウ

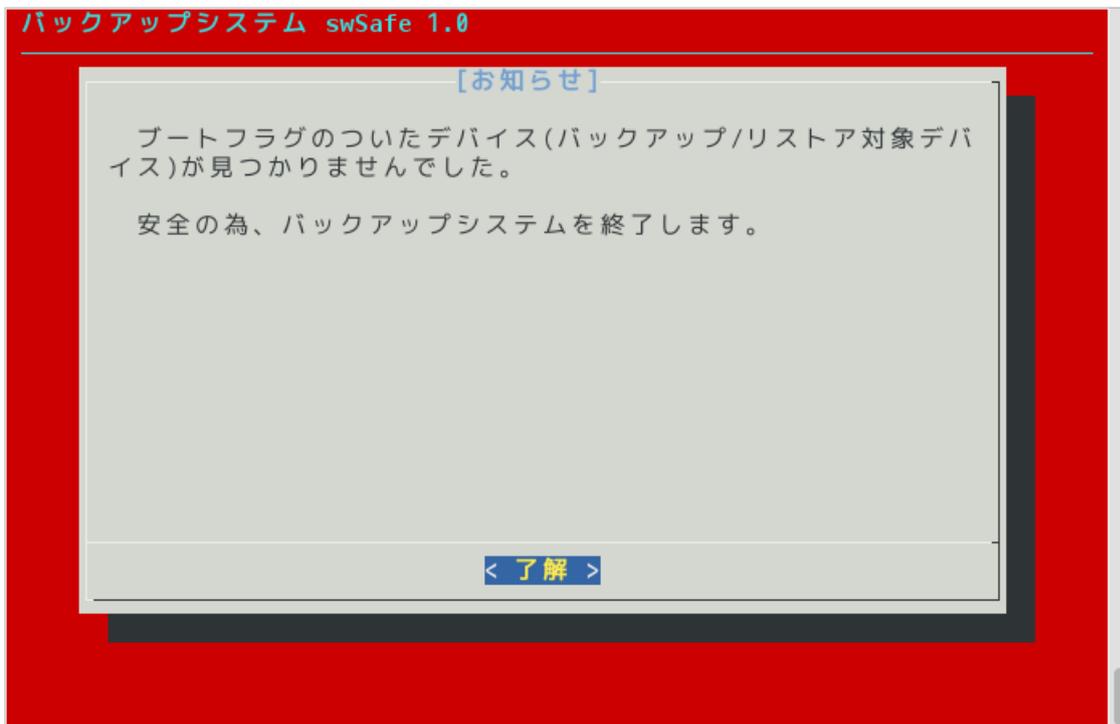
ンします。もし、中止する場合には、矢印キーで「いいえ」を選択して、エンターキーを押して下さい。

第3章

こんな時は

3.1 バックアップ/リストア対象ディスクが見つからない場合

- システムディスク（バックアップ/リストア対象ディスク）が検出されない場合、以下のダイアログを表示します。安全の為、システムをシャットダウンします。



3.2 バックアップファイル保存先の空き容量が残り少なくなった場合

- バックアップ中、バックアップファイル保存先の空き容量が少なくなると、「バックアップファイル保存先の空き容量が不足した為、バックアップを中止します。バックアップ途中のファイルは、削除しました。不要なバックアップファイルを削除して、空き容量を確保してください。」と表示したダイアログが現れます。「了解」をキーボードのエンターキーで押し、バックアップを中止して下さい。
- メインメニューの「3 バックアップファイルを削除します。」により、不要なバックアップファイルを削除して、空き容量を確保して下さい。あるいは、バックアップファイルを別メディアに移動させ、空き容量を確保して下さい。

3.3 swSafe をアップデートする場合

1. swSafe を PC の USB ポートに接続し、ファイルシステムをマウントします。多くの OS では、USB ストレージを USB ポートに差すだけで認識されます。

注釈: Linux など自動でマウントされない場合には、手動で USB ストレージをマウントする必要があります。(実行例: `sudo mount -t vfat /dev/sdc2 /mnt`)

2. 入手したファイル **home.img** を USB ストレージ へ上書きコピーすれば終了です。

Linux の場合

```
$ cp -r home.img /mnt/home.img # USB ストレージのマウント先が/mnt 場合。
```